

山行計画

雪稜祭・世附川ロッジ6月17日(土)～18日(日)

集合 15:00 開始 16:00

(21名で予約済み追加可能、宿泊1500円、バンガロー5棟(男性10名2棟、女性12名3棟))

持ち物: 食器、コップ、ヘッドランプ、シェラフかシェラフカバー、畳の上にごろ寝なので空気枕やマットがあるといいです。飲み物は用意しますが各自好みの物を持参も歓迎します。

メニュー計画: 鮭のちゃんちゃん焼き、ステーキ、バーベキュー、素うどん

世附川ロッジ直行者と大野山登山者(谷峨駅～大野山～丹沢湖 歩行4時間20分)とに区分

参加者: 吉田 前田 高橋英 加賀屋 大沢 鈴木 佐藤文 吉田正 一之瀬 三浦 国島 野間 前島 瀧角田 池田 堀江 山下 生艸 OB: 砂川朝 砂川秀 吉田元 (22名)

直行組(車利用・買出し): 前田、吉田正 角田 山下 生艸 砂川朝 砂川秀 吉田元 (8名)

直行組(バス利用) 池田

登山組: 吉田 高橋英 加賀屋 大沢 鈴木 佐藤文 一之瀬 三浦 国島 野間 前島 瀧 堀江 (13名)

登山組は御殿場線谷峨駅9時10分集合 (横浜駅7:37発、国府津駅乗換え、谷峨駅9:01着)

雨天で登山中止(前日17時発表の天気予報で雨の確率が50%以上)の場合は新松田駅12:55発西丹沢行きで丹沢湖13:45下車後、車で迎えに来てもらう

バスで世附川ロッジに直行者も同上のバスを利用する

車提供者: 前田 山下 砂川 : 1台に5000円

(燃料費、通行料等)支給

費用は当日徴収: 瀧、三浦

世附川ロッジ(宿泊代1500円+バーベキューセット、大鍋)+食料代+車費用

黒部五郎岳・薬師岳7月20日夜行(木)～24日(月)

(一之瀬・瀧)

交通機関: 7月20日(木) 竹橋22:30発

毎日アルペン号 3列シート(予約済み)

コース

21日(金) 新穂高温泉-わさび平-秩父沢-シシウドヶ原-鏡平山荘 (5:50)

22日(土) 鏡平山荘-弓折乗越-双六小屋-双六岳-三俣蓮華岳-三俣山荘-黒部五郎小屋 (5:55)

23日(日) 黒部五郎小屋-黒部五郎岳-中俣乗越-赤木岳-北ノ俣岳-太郎平小屋 (7:35)

24日(月) 太郎平小屋-薬師岳山荘-薬師岳-薬師岳山荘-太郎平小屋-折立 (8:20)

*薬師岳はサブザックでピストン

折立からタクシー(途中温泉入浴40分待機サービス)

-富山駅-北陸新幹線-東京-横浜

費用: 毎旅バス11700円

山小屋: 9700円×3泊

復路: 新幹線13470円(3:40)

タクシー: 折立-富山 ジャンボ25100円(9人) 普通19100円(4人)

集金: 20600円を6月26日の集会までに納付する

バス代: 11,700円 太郎平小屋: 9,500円 同時購入割引: 600円他の小屋は宿泊日当日小屋払い

11,700円+9,500円-600円=20,600円

次回12日の集会で、毎旅の参加者名簿に、各自記入していただきます。

参加者: 加賀屋、大沢、佐藤文、一之瀬、三浦、国島、武石、野間、瀧、星野、堀江(11名)

大雪山縦走8月18日(金)～22日(火)(前田)

大雪山縦走(8月18日(金)～22日(火)(前田)

大雪山縦走(P1)

18日(金) 羽田空港11:15-旭川空港12:50-旭岳温泉-旭岳青少年野営場

19日(土) 旭岳青少年野営場-姿見駅-旭岳-北海岳-白雲岳避難小屋(またはテント)(5:20)

20日(日) 白雲岳避難小屋-忠別岳-五色岳-化雲岳-ヒサゴ沼避難小屋(またはテント)(7:40)

21日(月) ヒサゴ沼避難小屋-トムラウシ山-温泉コース分岐-トムラウシ温泉-トムラウシ野営場(テント)(8:50)

22日(火) トムラウシ野営場-新得駅-南千歳-新千

歳空港－羽田空港

23日(水) 予備日

化雲岳からトムラウシ山(P2)

19日(土) 羽田空港－旭川空港－天人峡温泉

20日(日) 天人峡温泉－化雲岳－ヒサゴ沼避難小屋(8:55)

21日(月) ヒサゴ沼避難小屋－トムラウシ山－温泉コース分岐－トムラウシ温泉－トムラウシ野営場(テント)(8:50)

22日(火) トムラウシ野営場－新得駅－南千歳－新千歳空港－羽田空港

23日(水) 予備日

山行報告

明神岳・潤沢5月2日(火)～9日(水)(記録・写真前田)

5月2日～5月6日(杉澤)

5月2日～5月9日(前田)

5月6日～5月9日(角田・生艸・吉田元・石原栄・砂川朝・砂川秀・渡邊伸・三ノ宮)

現役4+OB6(男7、女3)の10人での潤沢合宿となった。L前田で計画を進めた。

先発パーティは5月2日横浜を杉澤車で出発。

大渋滞の圏央道を抜け沢渡駐車場には翌3日未明着となり、仮眠をとって上高地行きのバスを待った。

5月3日(前田・杉澤)明神東稜パーティ

上高地(7:20)明神/養魚場(8:30)ひょうたん池/テント(12:40)

昨年は、吉田元二さんと明神の嘉門次小屋のいりり端で岩魚を肴に一杯やっていた。

明神館付近からは東稜の気持ちよさそうな雪稜がよく見えていたので、次はそのルートに登りたいという気持ちが強くなっていた。

今回計画の発端である。そのとき、話のついでに東稜までのアプローチを確認しておいたので、気は楽だ。

今日は慣れた道をたどるかのように下宮川谷の出合の小橋を渡り、残雪の沢に登り始めていた。

晴天下、雪の反射が強くサングラスなしではいられない。谷の雪の上をひたすら登ること4時間。

ひょうたん池の大きなダケカンバのあるテントサイトにたどり着いた。

途中から見えていた先行パーティは東稜の最初の岩場を超えられず5時間ぐらいを費やしているようで、日が陰り初めても、まだ行動中のようにだった。

5ないし7人ぐらいは稜上で全く進んでいなかった。

前田(テント、シュラフ、マット、雨具、着替え、ライト、地図その他小物、炊事用具、ピッケル、アイゼン、ハンマー、カラビナその他登攀用具、食糧4日分、水2L、一眼レフ)あわせて16Kg。

いまの用品はほんとに軽く高性能になったので助かる。

なにしろ、これを担いで雪壁や岩に登らなければならないのだから。

杉澤(似たような内容だが20K近かったかもしれい)軽量化に取り組んだほうが良さそうだ。

費用はかかるが。



5月4日(同)

ひょうたん池(5:40)明神主峰(12:30)最低コル(15:50)奥明神沢下降開始(16:10)岳沢/テント(17:30)

ひょうたん池には3パーティがテントを張っていて、新潟からの人たちは今日中に帰るといふ。

快晴の朝日が顔を出すころ我々が最初に出発した。
やがて先行するパーティに追いついたが、驚いたことに
昨日稜上に望見したあの5人連れのようなようだった。
数時間のルートに2日がかかりということだ。
それからとんでもない待ち時間が始まることになった。



主峰に着いたのは昼過ぎ。懸垂下降の支点が空くまで2
時間以上待たされた。

見るとプルージックのやり方を教えてもらったりしてい
る。(こんなところでやる?) バットレスの直登では微妙な
乗っ越しの時にザイルが伸びず、あえなく墜落した。

すっかり調子が狂ってしまった。

失敗はまだある。奥明神沢を下り始め、少し傾斜が緩く
なったあたりから尻セードを始めたが、ピッケルで制動を
掛けた拍子に肋軟骨を痛めてしまった。

ボキッという嫌な音がして息が止まる痛みが走った。
それからずっと、体を動かすたびにグリグリと肋骨が動く
のだ。

さらにもう一つ失敗がある。

顔も腕も日焼けしていたが、やがて唇が割れて、たまら
なく痛くなってきた。

帰ってからの話だが、かかりつけの薬剤師さんに教えて
もらったのは、口唇ヘルペスという症状だった。

紫外線は人体にとって有害であり、浴びると強いストレ
スが掛かって免疫力が低下するそうだ。

口唇ヘルペスはその一症状であり、帯状疱疹の唇版のよ
うなものらしい。

今後は日焼け止めクリームを重視しよう。

さしあたり20年前のクリームは新しくすることにし
た。ところで、この日の行動時間は12時間になり、

半分は待ち時間に費やしたことになる。気の毒なのは
後からきた新潟の人たちで、中ノ湯まで歩いてからタク
シーをたのむといていたが、帰れたのだろうか。

この日は上高地のテントに帰ってから小梨の湯に入
り、小梨平食堂にて生ビールで乾杯。

5月5日(同)

岳沢(10:00)上高地/テント(12:00)嘉門
次小屋(15:00)上高地(*)

肋軟骨の具合が良くないため奥穂から西穂の縦走は取
りやめとし、嘉門次小屋で栄養補給することに決めた。

前田、杉澤(岩魚塩焼き5、岩魚燻製1、燻製チーズ
1、岩魚骨酒6合、地酒2合、ビール3、山菜蕎麦、岩
魚蕎麦1)岩魚の燻製以外はどれも美味。蕎麦も美味し
い

5月6日(同)

杉澤は下山。朝早くのバスで沢渡へ行き杉澤車で帰宅。
前田は砂川と合流後に角田・生艸を迎えた。

この後は角田さんの記録参照を





明神ヶ岳 5月3日 (水) 参加者：佐藤文他

三浦アルプス 5月7日 (日)

コース：南尾根－田浦梅林 参加者：瀧

三浦アルプス 5月14日 (日)

コース：双子山－中尾根－乳頭山－田浦梅林
参加者：瀧他3名

東丹沢主脈縦走 5月20日 (土)～21日 (日)

(記録：武石、写真：山下、前田)

1日目：ヤビツ峠 8:40～二ノ塔 9:57、10:08～三ノ塔
10:25～鳥尾山 (昼食) 11:03、11:30 新大日 12:50～塔ノ
岳 13:48 (尊仏山荘泊：布団4枚に5人、素泊まり 4500
円) 山下さん 14:10 大倉尾根を下山

2日目：塔ノ岳 4:48～竜ヶ馬場で朝食～丹沢山 6:26～
蛭ヶ岳 8:03～姫次 9:43～焼山登山口 13:15～(津久井交
通タクシー2台、1台 6580円) 橋本駅

参加者：吉田 前田 鈴木 武石 星野 日帰り：山下

7時35分発の神奈中バスに乗るため、7時に秦野
に着くと、ヤビツ峠行きのバス停は既に長い行列。

集合時間の7時20分に他のメンバーも来たが、長
い行列の後部に並ぶ。

時間になり、ヤビツ峠行の臨時バスが4台も出て、
全員無事、予定時間にヤビツ峠に集まる。

8時40分に出発。9時に登山口、きつい登りをた
だひたすら登り、10時35分三の塔に到着。

11時05分 鳥尾山荘前で昼食休憩。



バスに沢山乗客がいたわりに、渋滞もなく13時45分塔が岳頂上登頂、山下さんは日帰り予定のため、ここで大倉尾根から大倉に下山のため別れる。

宿泊グループは手続き後、部屋に荷物を置き、3時から夕食まで宴会。

18時には一部の人は就寝体制。

朝4時頃、周りの騒ぎで皆目を覚まし、荷物整理後4時50分出発、丹沢山目指す。

5時25分龍ガ馬場にて朝食。5時50分丹沢山登頂、頂上はスルーして蛭ヶ岳目指す。

富士山もコース左手に大きな姿を見せ、いま盛りの豆桜がマッチして心に感動。



8時4分丹沢山塊トップの蛭ヶ岳頂上登頂。休憩後、北丹沢山地を経て下山開始。

長い下りの登山道を汗をかきかき進む。

姫次、焼山と長いアプローチを進み、(景色はあまり良くない)13時45分バス停着。

ただしバスは4時半までなく、タクシーを呼んで横浜

線橋本駅に向かい、駅で全員無事で、有名な蛭に出会うこともなく解散する。

正直言って、今日の下りの距離と急坂にばてた二日目でした。

大山5月28日(日)

コース：ヤビツ峠-大山-女坂

参加者：佐藤文他

集会記録(吉田) 5月15日(月)18:00~20:00

出席者：吉田 前田 加賀屋 大沢 鈴木 佐藤文 三浦 武石 角田 星野 山下

1、山行報告

①5月2日(火)~9日(火)明神岳・涸沢(前田)
山行報告参照

5月3日(水)明神ヶ岳 佐藤文他
マメザクラが咲いていた。宮城野で入浴。

2、山行計画

①東丹沢主脈縦走 5月20日~21日 (吉田)

参加者：吉田 鈴木 武石 星野 日帰り参加：山下

②雪稜祭・世附川ロッジ

・参加者20名

・車提供者に燃料費、通行料などの費用として1台5000円を支払う

・登山が雨で中止のときのバスの時間を決める

③夏山 黒部五郎岳・薬師岳 (一之瀬)

7月20日からの山行だと梅雨明けが遅れるのが心配なので8月上旬の山行も検討したがトムラウシ山行との間が短いという事で日程の変更はなしとする。

④トムラウシ山

武石さんより天人峡温泉からの1日短縮コースの提案があり、2コースを検討する

集会記録(一之瀬) 5月29日(月)18:00~20:00

参加者：吉田、前田、高橋英、鈴木、大沢、佐藤文、一之瀬、武石、野間、前島、瀧、角田、星野

1、山行報告

①5月20日~21日 東丹沢主脈縦走 (吉田)

ヤビツ峠行のバスは5台増発、混んでいた。ヤビツ峠から二ノ塔、三ノ塔を越え、烏尾山で昼食。途中、岩場で渋滞。13:48、塔ノ岳に着く。尊仏山荘に泊まる。自炊・素泊まり。布団4枚に5人。翌4:48出発。竜ヶ馬場で朝食。丹沢山～蛭ヶ岳は、豆桜が満開だった。シロヤシオも咲いていた。絶滅危惧種のコイワザクラが咲いていた。下りは遊歩道が整備されていた。下山後、タクシーで橋本駅へ行き、帰宅した。

②5月28日(日) 大山 (佐藤文)

ヤビツ峠から登った。混んでいた。山頂から下社に下り、下社から下山した。日本酒の試飲をしていた。

③5月7日(日)14日(日)三浦アルプス (瀧)

7日、逗子駅から風早橋まで歩き、南尾根を歩いて、田浦に下山した。14日は、4人で登った。双子山から、森戸川の沢に下り、沢を渡り返して、中尾根に上がり、乳頭山から田浦梅林に出て、田浦駅から戻った。

2. 山行計画

① 雪稜祭・世附川ロッジ

- ・世附川ロッジに、15:00 集合、16:00 宴会
- ・車提供者に、燃料費、通行料等で、5,000円
- ・谷峨駅9:10 集合、横浜駅7:37 国府津乗換
- ・雨天時(前日の降水確率50%以上のとき)は、新松田駅 12:55 発 西丹沢自然教室行のバスで丹沢湖まで行き、車で迎えに来てもらう。
- ・寝具は、シュラフカバー程度で大丈夫。枕になる物、服を1枚余分に持っていくとよい。(床は畳)
- ・自分の食器、ヘッドランプ持参。
- ・前島さん、ハムを提供。

② 夏山 黒部五郎岳・薬師岳 (一之瀬・瀧)

- ・参加者の確認 佐藤文、国島、野間、瀧、星野、堀江、追加 男4、女7人 (5・31 予約)

⑥ トムラウシ (前田)

日 程: 8月18日(金)～22日(火)

- ・降水量の少ない時期、天気期待できる。
- ・大雪山(旭岳)の縦走コースと天人峡温泉から上る短縮コース
- ・携行品: テント、マット、シュラフ、水20、食料4日分(軽くかさ張らないもの) 協同装備は男性。
- ・よく整理してパッキングする。

- ・生水は飲めない。煮沸する。

次回、参加者募集

3. その他

丹沢山行で学んだこと (前田)

- ・歩くペースが速い。全体のペースをつかむ。いろいろな人が先頭をあるくとよい。
- ・水分補給について
水分が不足すると、足がつる。足運びが低下する。脳の血流が悪くなると、運動中枢のある小脳の機能が低下する。一旦脱水すると、水分の吸収が悪くなる。水分補給は必要な分をきちんと取る。
- ・必要な水分量
 $5 \times \text{体重} \times \text{行動時間}$ (休憩含む)

山行を希望する山

大岳山 (高橋泰)

丹沢三峰

本社ヶ丸 (吉田)

三ツ峠山 (吉田)

三斗小屋温泉

百蔵山・扇山

夏山 飯豊山

秋 北八ヶ岳 (佐藤文)

秋 北八ヶ岳 (武石)

谷川連峰馬蹄形縦走

谷川岳～平標山

不帰キレット

棒ノ折山 (高橋泰)

集会日 場所 県民サポートセンタ

6月12日(月) 306号室 18:00～20:00

6月26日(月) 306号室 18:00～20:00

7月10日(月) 602号室 18:00～20:00

(7月24日(月) 603号室 18:00～20:00)

24日は山行日と重なるので変更予定

8月7日(月) 601号室 18:00～20:00

8月21日(月) 601号室 18:00～20:00